

**IFCA(International Foster Care Alliance)から学ぶ施設養護から家庭的養護へ。
そして当事者の声を聴く。**

IFCA は、日本とアメリカの児童福祉をつなぐ唯一の NPO 法人として 2012 年に設立し、その後、日米両国でさまざまな活動を展開してきました。また、今回の講師となる IFCA のスタッフは、フォスターケアの現場で子どもたちとその家族、そして里親や施設職員と長年にわたり仕事をしてきた方々です。

さらに、IFCA の当事者ユースたちは、自己の人生ゴールを追い求めて努力をしてきただけでなく、他のユースたちの地位向上やシステムの改革のために、地域、州、そして連邦政府のレベルで力を注いで来たメンバーです。

日 時：平成 27 年 9 月 5 日（土） 13 時 30 分～16 時 30 分（開場 13：00）

会 場：日本女子大学（目白キャンパス） 香雪館 4 階 404 教室

参加費：無料（学会員以外でも参加可）

※参加申し込み不要

第 1 部

1 3 時 3 0 分～1 5 時（講師：栗津美穂 IFCA 代表理事、峰下拓 IFCA 理事）

- IFCA の簡単な紹介（今までの歩みと活動の理念）
- 米国のフォスターケアの歴史と仕組み（連邦児童福祉法案、裁判所でのケースの流れ、ワシントン州の課題）
- 施設養護から家庭的養護へ（パーマネンシーを重視した米国の取り組み、ラップアラウンドなどの地域ごとの努力）

第 2 部

1 5 時 1 0 分～1 6 時 3 0 分（講師：デイビッド・ダニエル）

- 米国のユースアドボカシーと自立支援（ユースリーダーシップによる児童福祉の改善）
- 米国の社会的養護の当事者の大学進学事情とリソース（進学・卒業までの困難さを解説。ワシントン大学チャンピオンシップ・プログラムなどの支援プログラムの紹介）
- パネルディスカッション（米国ユース 2 名、日本ユース 2 名による 30 分間の討論。自立に向かって、大人との関係を築くことの重要性などについて議論）

主 催：日本子ども家庭福祉学会

問合せ先：ohtake@ris.ac.jp（大竹）